

副院長就任のご挨拶
新任部長のご挨拶
呼吸器外科でのロボット支援手術導入について
新任医師のご紹介／臨床研修医のご紹介
旭川赤十字病院ホットラインのお知らせ
総合診療科のご案内

連携室 だより

理念

赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し
質の高い医療を提供します

基本方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重した病院環境をつくります
2. 急性期医療を中心にして診療を進めます
3. 救急医療の充実に努めます
4. 地域の医療機関等との連携を推進します
5. 国内外の災害時の医療救護活動に貢献します
6. 職員の教育、研修を充実させます
7. 健全経営に留意して、その結果を社会に還元します

私たちは患者さまの権利を尊重します

適切に医療を
受ける権利

医療に関して
知る権利

医療行為を
自分で選ぶ権利

プライバシーを
保障される権利

人権を尊重
される権利

セカンド
オピニオンを
受ける権利

旭川赤十字病院職員行動規範 5つの約束

1. 私たちは、来院される方と職員に笑顔であいさつをします
2. 私たちは、初対面の患者さまに、自己紹介をします
3. 私たちは、電話の最初に、部署と名前を名乗ります
4. 私たちは、患者さまに診察や説明をしたあとに「何かわからないことやご質問はありませんか?」とお尋ねします
5. 私たちは、院内で迷われている皆様にお声掛けをし、ご案内します

編集後記

2022年5月、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部において、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が一部変更され、マスクの着用について、屋外では、周りの人との距離がとれなくても会話をほとんど行わない場合は必要はないなどとする考え方が盛り込まれました。感染症対策として緩和の動きがあるところですが、当院は地域医療の充実に図るため、引きつづき感染防止策を徹底して行っています。

発行

旭川赤十字病院 地域医療連携室

〒070-8530 北海道旭川市曙1条1丁目1番1号
tel.(0166)22-8111(代表) fax.(0166)22-8287(直通)
URL <http://www.asahikawa.jrc.or.jp/> Email renkei@asahikawa.jrc.or.jp





副院長就任の挨拶

旭川赤十字病院 副院長 安孫子 亜津子

平素より連携医療機関の皆様には大変お世話になっております。

このたび、令和4年4月より副院長に就任いたしました安孫子亜津子と申します。

私は平成4年旭川医科大学卒業で、卒後は第2内科に入局し、糖尿病内科を専門として、大学院では糖化最終産物(AGEs)に関する研究をしていました。当時1ヶ月間国内留学した熊本大学にて、指導していただいた女性研究者から、その後の研究や臨床を続けるモチベーションの元となる刺激をうけました。名寄市立病院へ2年間赴任時には消化器内科も担当し、当時は内視鏡のできる糖尿病医になりたいと本気で考えていました。その後当院に半年間赴任した時に内視鏡検査も行いながら、糖尿病診療を行っていたことが懐かしいです。ポストンへの留学の機会をいただき、そこで妊娠・出産を経験したことで、日本の医療体制とは大きく異なる米国の医療を体験でき、それまでの既成概念を覆すこととなりました。帰国後は子供が1歳を超えたところで旭川医大に復帰しました。子供がいると医局を離れる女性医師が多い時代でしたので、当直免除や時短勤務などは画期的なことで、たくさんの人達に支えられ新しいことにチャレンジできたことを感謝しております。医大では女性医師や看護師をサポートするためのプロジェクトチームに参加し、平成19年に設立された二輪草センターにての活動をさせていただきました。その後は女性支援のみではなく、医師の働き方改革へとミッションが広がり、医療界が変革すべき課題の多さを実感しております。

令和2年に当院の糖尿病・内分泌内科部長として赴任してから2年間、救急医療、高度医療の第一線で奮闘する当院各科の医師やスタッフの皆と共に仕事をする中で、地域医療の中における当院の使命を強く感じております。これまで推進してきた「糖尿病地域連携パス」の普及も継続し、旭川市内および周辺地域の医療機関との連携をさらに強化して、有効な医療機能分化を構築していきたいと考えています。糖尿病治療薬は年々進化を続けていますが、早期から適切な治療を導入し、それを継続することは、容易なことではないのも現実です。現在は糖尿病患者のスティグマに関する啓蒙も行っており、患者さん達が幸せな生活を続けられるようなサポートができればと思っております。そのためにも地域の医療機関の医師、多職種スタッフ、行政などと、幅広い連携をしていくことは重要と考えております。コロナ禍で実際にお目にかかれない日々が続いておりますが、どうかお気軽にお声をかけていただければ幸いです。

これまでお世話になった皆様への感謝をこめて、この地域の医療発展のために精進していく所存です。引き続きご指導、ご鞭撻をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。



第三脳神経外科部長

竹林 誠治

このたび令和4年4月1日付で第三脳神経外科部長を拝命しました竹林です。私は1993年に旭川医科大学を卒業し、同付属病院脳神経外科に入局後その関連病院勤務を経て、2008年に当院に赴任しました。当時は脳神経外科部長であった上山博康先生のもとに、全国から治療困難な脳疾患を抱えた患者が集まり、日本屈指の脳動脈瘤クリッピング術の症例数を誇っていました。そしてその手術を勉強するため10名近い若手脳外科医が全国から赴任していましたが、私は少し年上だったので、皆から“竹兄(にい)”と呼ばれ、光栄なことに上山先生からもこのニックネームで呼ばれるようになりました。バイパス手術をはじめ、高度な開頭技術はそれまで見たことのない圧巻のレベルでとても感銘を受けましたが、その勤務は過酷を極め、後にも先にもそれ以上辛い経験をしたことはありませんでした。しかし、この経験こそが今の自分を支えてくれていると思っています。2012年に上山先生は若手脳外科医を育てる塾を開設するため札幌に

赴任し、その後任として瀧澤部長がこの重役を継承し、驚異的な体力と精神力で、まさしく粉骨砕身で旭川医療圏の脳卒中診療を担ってきました。その治療成績は秀逸で現在論文にまとめているところです。そしてその手術を勉強するため多くの脳外科医が国内のみならず海外からもから赴任するようになりました。さらに昨年より脳血管内治療のエキスパートである和田部長が赴任され、選択の幅が広がりより多彩で高度な診療が可能になりました。

当院はこの旭川医療圏における脳神経外科救急の中心的役割を担っているため、手術症例が集中し、仕事量が過多となることが多々あります。

私としてはこの隙間を埋めるべく、多くの業務を他の優秀なスタッフとともに分担したり、若手脳外科医に気配りすることも大事なことで思っています。当科における業務全体を広く見渡しなが、皆から信頼される“竹兄”を目指し、より良い脳神経外科医療を提供できるよう、何等かの形で少しでも貢献できるように務めてまいりたいと考えております。そしてこれまで同様にこの地域の住民に信頼される医療機関となれるように頑張りますので今後ともよろしくお願いいたします。



救急科 部長

川田 大輔

この度、救急科部長、集中治療室管理責任者を命じられました。私は、旭川市に生まれ旭川市で育ちました。旭川医科大学を卒業し2003年と2007年2008年に旭川赤十字病院麻酔科で勤務しました。昨年4月に3回目の勤務として戻って参りました。1年が過ぎましたが、私を育てていただいた旭川赤十字病院の働きやすさ、ありがたさを日々感じております。

当院は地域医療を支える基幹病院であり、救命救急センターは地域医療の最前線です。これからもより一層地域のために力を尽くして参ります。

また救命救急センターでお引き受けした重症患者を治療する、集中治療室は地域医療にとって最後の砦です。今後は、集中治療室管理責任者としてもお役に立てる様に取り組んでいきます。

近年、集中治療室は集中治療室内における重症患者治療のみならず、院内全体の医療安全に取り組むべきとされております。具体的には、4月より院内迅速対応チームを立ち上げて、ICU及びHCUを退室したばかりの重症患者、またこれから重症化する可能

性のある患者を多職種で回診しております。院内迅速対応システム、院内迅速対応チームに関しましては、今後院内への周知活動を行なって参ります。同システムは今年度の診療報酬改定において、急性期充実体制加算を得るために必須となっております重要な事案です。私は前職の旭川医科大学病院で4年間同システムの立ち上げと管理に関わって参りました。経験を活かしつつも、当院に合ったシステムとなる様に尽力いたします。

また、呼吸器サポートチーム、ICU及びHCUにおける他職種カンファレンスにも引き続き取り組んで参ります。

これからも皆様に助けをいただく事が多いと思います。私も皆様のお力になれる様に力を尽くします。何卒宜しくお願い申し上げます。



内科 部長
酒井 俊郎

この度4月1日付で内科部長の任を拝命いたしました。

私は岩見沢出身、札幌医科大学を2002年に卒業いたしました、同大学附属病院、旭川赤十字病院、月形町立国保病院、小樽掖済会病院勤務を経て、2008年より当院血液・腫瘍内科で勤務してまいりました。現在は専門を血液内科、特に造血幹細胞移植(いわゆる“骨髄移植”)として旭川、さらには道北圏の血液疾患の患者さんを診療させていただいております。

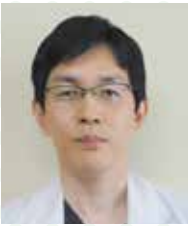
当科は多方面の地域から血液疾患患者さんをご紹介いただき多くの患者さんを通じて経験の蓄積をさせていただき、また古参の移植施設として歩んでまいりました。最近では多くの新規薬剤、特に抗体医薬品の登場により、これらを活用することで効果的かつ副作用の少ない化学療法の実践、当科の特色の一つである末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)を積極的に使用した侵襲性の少ない血管アクセスを選択するなどの支持療法の充実、さらに移植医療では、様々な技術発展により70歳前後までの高齢者に同種移植が可能となり、また臍帯血やHLA半合致移植なども取り入れながら、よ

り多くの難治例に対して根治を目指すといった先端医療の側面とともに、緩和的な化学療法、支持療法、苦痛緩和にも力を注ぎながら、若年層から超高齢者まで幅広い患者さんに血液診療を展開しております。

私は内科医として約10年目までの期間は血液内科のみならず、消化器内科や総合内科医として道内で勤務してきた経験を糧とし、医学的根拠に基づく先端医療の観点と、個々の患者さんの物語に基づく医療の視点を両輪とし、世界標準の治療を中心に据えながら、個々の患者さんに対話を通じて満足度が高い“患者さん中心のオーダーメイド医療”を丁寧に愚直に提供できるようさらに精進していく所存であります。

今後日本、特に北海道は世界でも経験がない超高齢化社会の最先端を歩むことになることが予測されます。この中で既成の概念にとらわれず、前述の視点に立ち、また本院の基本理念に則り患者さんに優しい内科医であるよう日々の診療をおこないつつ、後進の医師教育にも尽力させていただきたく思っております。

まだまだ未熟な点、御迷惑をおかけすること多々あるとは思いますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



呼吸器内科 部長
須藤 悠太

この度、令和4年4月1日付で呼吸器内科部長を拝命いたしました。科長としての重責に身が引きしまる思いです。

私は平成20年に札幌医科大学を卒業し、札幌医科大学附属病院、市立釧路総合病院、製鉄記念室蘭病院などの勤務を経て、平成31年より当院に赴任しております。私の赴任1年目の冬に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックが発生しました。旭川市内でもいくつかの病院や高齢者施設でクラスターが発生し、旭川市内は医療崩壊と言っても過言ではないほどの感染状況となりました。当院では軽症者をはじめ、中等症から重症の患者の治療も行い、多くの方が元気に退院し、社会復帰されております。感染者数は現在も多いですが、治療の選択肢も増え、ワクチン接種の効果もあり、重症者の数は減ってきているように思います。今後も重症化しやすい変異株が出現してくることもあり得ることから、市内の病院と連携し、地域の方が安心して過ごせるような医療体制を維持していきたいと考えております。

呼吸器疾患は感染症をはじめ多岐に渡りますが、高齢化に伴い当院に紹介される肺癌患者は年々増加してきております。気管支鏡検査数は年々増加しており、昨年度の検査数は数年前の倍以上となっております。道北地方で肺癌診療を行う施設は限られており、当院には稚内や留萌など遠方の都市から紹介される患者様も多数いらっしゃいます。最近の肺癌治療は個別化医療が加速しており、治療を行う際には遺伝子解析を行い、患者個人に最適な治療を選択できるようになってきております。また個別化治療に伴い、長期生存される方も多くなる一方で治療法は複雑化してきております。旭川という地方都市ではありますが、最先端の治療を提供できるように日々の研鑽は怠らないように心がけております。

この4月から呼吸器内科は1人減員の3名となり、そのうち1名が卒後3年目の医師となっております。今まで通りの診療体制を維持するように日々努力はしておりますが、近隣の医療機関にはご迷惑をかけてしまうこともあるかもしれません。皆で力を合わせて診療にあたっておりますので、今後ともご協力、ご指導よろしくお願い申し上げます。



泌尿器科 部長
宮本 慎太郎

人事というのは不思議なもので、3回目の旭川です。赴任したからには地域の皆さまのお役に立てるよう邁進する所存です。尿路悪性腫瘍、尿路結石症、重症尿路感染症、難治性の排尿障害など、いつでもご相談・ご紹介ください。ただ、現時点で外来が飽和状態にあるため、感染症や排尿障害などは症状が落ち着き次第、逆紹介させていただくこともあるかと存じます。迅速な新規ご紹介受け入れ枠確保のためにも、ご理解・ご協力の程、宜しく願いいたします。

個人的には腹腔鏡手術や尿路結石症手術を得意分野とし、後進への指導等行ってまいりました。ここ数年で、前立腺肥大症や難治性過活動膀胱に対する新しい手術治療の保険適応が増えてきたため、これらの導入も積極的に進めていきたいと考えています(予算の問題もあります)。また当院は今年に入り、ようやくロボット支援下手術(da-Vinci Xi)が導入されました。当科としては以前より導入を希望していましたが、その声はなか

なか届かず、そうこうしているうちにすっかり新しい治療ではなくなり、旭川では4台目です。遅きに失した感は否めませんが、年々適応も拡大していますので腐らずにやっと思いいます。外からの新しい風を好まない気質の病院ですが、各地の病院で体験したシステムの良いところを取り入れつつ、何とか中核病院として皆さまのご期待に沿えるよう精進してまいります。

新型コロナウイルスの流行も、依然収束に向かっていいるとは言えない状況です。実地での研究会や講演会も殆ど開催されず、皆様とface to faceでお話をする機会はなかなかありませんが、今後の状況を見ながら地域の先生方と交流できればと考えています。趣味である陶芸や溪流釣りなどは、新型コロナウイルスの感染状況に左右されずに楽しめるため有難いですが、街に繰り出しての酒宴や旅行はまだまだ憚られます。リモート飲みも、遠方の友人との会話を気軽に楽しめるため悪くはないですが、一抹の寂しさはあります。さんろく街が活況を取り戻す日を心待ちにしております。



循環器内科 部長
飛澤 利之

この度、令和4年4月1日より循環器内科部長を拝命いたしました、循環器内科の飛澤 利之と申します。

私はこれまで、札幌医科大学付属病院、札幌医科大学大学院、また、道内関連病院勤務を経て、令和元年に当院へ赴任させていただきました。

昨今の高齢化社会を反映し、心不全パンデミックと称されるように心不全をはじめとした循環器領域疾患患者数は年々増加の一途をたどっており、我々循環器内科医の守備範囲は日々広がっております。

このような中で、当科では心不全を中心とした様々な疾患に対する薬物療法、非薬物療法(カテーテルインターベンション等)に加え、心不全管理において重要な心臓リハビリテーションにも力を入れています。

このコロナ禍の影響で現状はなかなか進んでおりませんが、院内の設備・環境を徐々に整え、今後は入院のみならず外来リハビリテーションも充実さ

せていく予定ですので、ますます近隣の医療機関の先生方と密に連携を取らせていただき、地域の基幹病院としてお役立てできればと考えております。

また、当院は道北ドクターヘリ事業を運用する3次救急を担う高度救命救急センターを併設しております。よって、急性冠症候群に対するprimary PCIをはじめとした、循環器救急への対応も重要な責務と考えております。

まだまだ若輩者で経験も浅く、ご迷惑をおかけすることが多々あるとは存じますが、旭川市のみならず上川管内の地域医療に少しでも貢献し、かつ地域住民の皆様に信頼される医療機関となるよう頑張りますので、今後とも宜しく願い申し上げます。

呼吸器外科でのロボット支援手術導入について

呼吸器外科部長 福永 亮朗

手術支援ロボットIntuitive社の「ダビンチ」は1999年にアメリカFDAの許可を受けて以降普及が進み、近年では全世界で年間100万件以上の手術が行われています。日本では2012年に前立腺全摘術が保険収載となってから急速に普及が進み、2018年4月より呼吸器外科手術も保険適応となりました。この度当院でも「ダビンチ」を導入する事となりました。当科では従来、低侵襲性を追求した胸腔鏡下肺手術(Video-assisted thoracoscopic surgery以下VATS)を標準的に行ってまいりましたが、昨年10月より準備を進め、今年3月から「ロボット支援下胸腔鏡手術」(Robot-assisted thoracoscopic surgery以下RATS)を開始いたしました。ダビンチには4本のアームがあり、取り付けられた3本のアームと内視鏡カメラを、マスタースレイブ技術による遠隔操作で操作する仕組みになっています(図1)。



図1:ダビンチ

主な対象疾患は肺悪性腫瘍ですが、縦郭腫瘍、胸腺全摘等も適応になっています。

VATSと比較した利点として、

- ①立体的な3Dモニターで術野を拡大して見る事ができ、細部までよく見て確認しながら手術ができる。
- ②従来助手に頼っていたカメラ操作を自身で行う事が出来るため、常に最適な視野を確保する事ができる(図2)。
- ③VATSでは2本の鉗子しか扱えないのに比べ、3本の鉗子を使えるため助手に頼らず自分で最適な術野を展開する事ができる。
- ④内視鏡手術鉗子と比較し可動域が増え(7自由度、540度回転)、手振れも排除してくれるため、深部においても「痒い所に手が届く」ような細かく自在な操作が可能になる(図3)。



図2:3D HDビジョン

最高10xの倍率を提供する三次元の高解像度HDビジョンによる術野を提供することができます。

等々明確な利点があり、より安全で精密な良い手術ができる手ごたえを感じております。術者は終始座ったままなので、術者の体にも優しいです。しかし、ロボットアームは触覚を持たない上、かなりの力を持っているため思わぬ臓器損傷の可能性があります。気をつけて手術に望んでいます。肺悪性腫瘍手術はロボットを第一選択とする方針で、4月までの間に7例に対し手術を行いました。今のところ大きな術中合併症もなく、手術時間も術者・スタッフが慣れるに従い短縮で

きています(表1)。

手術支援ロボットはこれまでダビンチの独占市場でしたが、日本のメディカロイド社が開発したhinotori™を始めとし、最近続々と新たなロボットが発表されてきています。今後各社の競争により高効率化、低コスト化が進むと共に、ロボット支援下手術の更なる普及が進むことは間違いのないでしょう。日進月歩な新技術を積極的に取り入れ、より良い医療を行っていきたいと思っております。

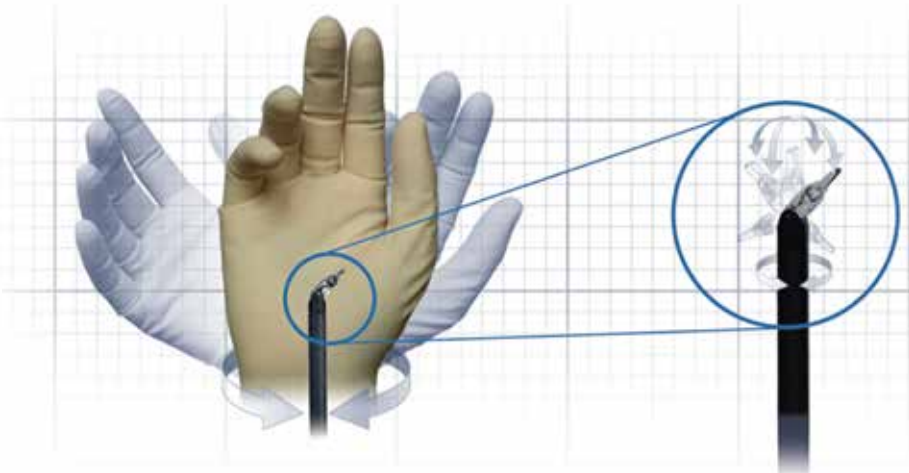


図3:EndoWrist® Instrumentation

EndoWristインストゥルメントには、人間の手と同等以上の可動域があります。多様な先端形状のラインアップにより各領域における術者の内視鏡手術器具捜査の支援をします。

表1:ロボット支援下肺悪性腫瘍症例(2022年3月～4月)

年齢	性別	術式	手術時間/分	進行度	術後在院日数
67	女	右下葉切除術	251	2B	8
76	男	右上葉切除術	292	IA3	6
75	女	左下葉切除術	179	IA2	17(術後脳梗塞)
74	女	左上葉切除術	350	3B	11
79	女	左下葉+上葉部分切除	233	肺癌の肺転移	6
71	女	右下葉切除術	147	IA3	8
67	女	左下葉切除術	159	2B	5

新 任 医 師 の ご 紹 介



血液・腫瘍内科 関口 柚史 (せきぐち ゆずふみ)

- 出身地／神奈川県
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／旅行

血液腫瘍内科の関口柚史と申します。精一杯尽力していきますので宜しくお願いいたします。



糖尿病・内分泌内科 滝山 貴央 (たきやま たかお)

- 出身地／旭川市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／映画、読書

旭川医大第2内科から参りました。宜しくお願いします。



腎臓内科 合田 大樹 (あいだ ひろき)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／筋トレ、野球観戦

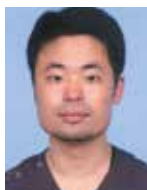
地域医療に貢献できるよう、努力いたします。宜しくお願いします。



腎臓内科 林 望美 (はやし のぞみ)

- 出身地／岩内町
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／スキー

宜しくお願いします。



循環器内科 長村 一步 (おさむら あゆむ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／テニス

循環器内科として働き始めて、至らない所もあると思いますが、宜しくお願いします。



消化器内科 長谷部 拓夢 (はせべ たくむ)

- 出身地／旭川市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／合唱

精一杯、診療にあたりたいと思います。宜しくお願いします。



消化器内科 武田 悠 (たけだ ゆう)

- 出身地／旭川市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ソフトテニス ピアノ

患者さんや職員の皆さんのお役に立てよう頑張ります。宜しくお願いいたします。



消化器内科 石黒 達也 (いしぐろ たつや)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／硬式テニス、釣り、登山

未熟な面が多々ありご迷惑をおかけするかと思いますが、精一杯頑張りますので何卒宜しくお願いいたします。



呼吸器内科 池田 健太 (いけだ けんた)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ミュージカル鑑賞

旭川の地域医療に少しでもお役に立てるよう尽力してまいります。宜しくお願いいたします。



脳神経内科 石丸 誠己 (いしまる ともし)

- 出身地／旭川市
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／ランニング

宜しくお願いいたします。



脳神経内科 布村 堇 (ぬのむら すみれ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／岩手医科大学
- 趣味／ランニング

がんばりますので、宜しくお願いします。



脳神経内科 脇田 雅大 (わきた まさひろ)

- 出身地／旭川市
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／子どもと遊ぶ

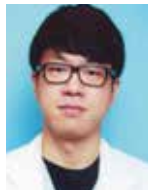
研修医以来、7年ぶりの勤務です。双方向で地域医療に貢献できれば存じます。



外科 出口 琢人 (でぐち たくと)

- 出身地／京都府
- 出身大学／久留米大学
- 趣味／サッカー・ゴルフ

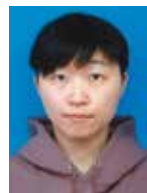
4月から旭川赤十字病院に赴任しました出口と申します。宜しくお願いいたします。



外科 栗原 尚太 (くわばら しょうた)

- 出身地／東京都
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／バスケットボール、音楽鑑賞

消化器外科が専門です。道北の医療を支えていきます。お気軽にご相談ください。



整形外科 宮原 樹里 (みやはら じゅり)

- 出身地／茨城県勝田市(現:ひたちなか市)
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ロードバイク、RPGゲーム

至らぬ点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



整形外科 宮澤 良祐 (みやざわ りょうすけ)

- 出身地／美幌町
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／温泉めぐり、コーヒー

4月から赴任しました。10月からは旭川医大に戻る予定です。短い間ですがよろしくお願いします。



形成外科 市原 寛大 (いちばら ともし)

- 出身地／旭川市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／映画鑑賞、キャンプ

いつも大変お世話になっております。皆様のお力になれるよう精進いたします。宜しくお願いいたします。



脳神経外科 大仲 佳祐 (おおなか けいすけ)

- 出身地／埼玉県三郷市
- 出身大学／東京医科歯科大学
- 趣味／カメラ、旅行、ビールと日本酒

旭川の医療に少しでも貢献できればと思っています。不慣れなことが多くご迷惑おかけするかもしれませんが、何卒宜しくお願いいたします。



脳神経外科 栗原 聖治 (くりばら せいじ)

- 出身地／埼玉県
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ボードゲーム

2年ぶりに北海道の地にてお世話になります。引き続き、地域のお役に少しでも立てるように頑張ります。宜しくお願いいたします。



脳神経外科 山崎 前穂 (やまさき まえほ)

- 出身地／東京都大田区
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ドラム演奏、カフェ巡り

未熟なことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、精一杯がんばります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



呼吸器外科 幾島 拓也 (いくしま たくや)

- 出身地／北海道
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／読書

腫瘍・気胸・膿胸・外傷等、幅広く対応してまいります。宜しくお願いいたします。



泌尿器科 山名 杏沙 (やまな あずさ)

- 出身地／鳥取県鳥取市
- 出身大学／川崎医科大学
- 趣味／旅行、散歩

今年度、何卒よろしくお願い申し上げます。



麻酔科 吉仲 阿佐美 (よしなか あさみ)

- 出身地／東京都
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／スキー

よろしくお願いいたします。



麻酔科 高橋 友紀子 (たかはし ゆきこ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／料理

札幌医科大学から参りました。道北医療のため頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



麻酔科 重元 守 (しげもと まもる)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／音楽鑑賞、マラソン

道北圏の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



歯科口腔外科 岸上 正佳 (きしうえ まさよし)

- 出身地／音更町
- 出身大学／北海道医療大学
- 趣味／キャンプ・釣り

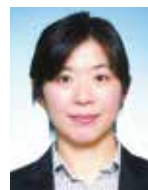
4月から旭川日本赤十字病院歯科口腔外科に勤務することとなりました。至らない点も多々あるかと思いますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。



産婦人科 吉田 俊明 (よしだ としあき)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／アウトドア(キャンプ・釣り)

厚生時代に引き続き宜しくお願い申し上げます。



救急科 白坂 友紀子 (しらさか ゆきこ)

- 出身地／兵庫県神戸市
- 出身大学／神戸大学
- 趣味／子供と遊ぶこと(子育てに追われています)

夫(旭川医科大学に勤務しています)に帯同して旭川に参りました。地域の救急医療に少しでもお役に立てると幸いです。宜しくお願いいたします。

臨床研修医のご紹介



東海林 昂

(とうかいりん あきら)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／筋トレ、ポーリング、麻雀

日々成長できるように精進してまいります。
ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



楠原 匡

(くすはら きょう)

- 出身地／白老町
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／バスケットボール、スキー

日々の学びを大切に、2年間精進いたします。
ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



松井 暉明

(まつい あきひろ)

- 出身地／北見市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／旅行、スキー

至らない点も多々あるかと思いますが、御指導御鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。



幸高 響子

(ゆきたか きょうこ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／登山、温泉

北海道の医療に貢献できるよう日々精進してまいります。よろしくお願いします。



武田 紗季

(たけだ さき)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／食べ歩き、ピアノ

日々学び、成長できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



西川 瑛亮

(にしかわ えいすけ)

- 出身地／滋賀県
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ゲーム、バレーボール

微力ながら地域の医療に貢献できるよう精進してまいります。よろしくお願い申し上げます。



長谷川 弓華

(はせがわ ゆみか)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ドラマ鑑賞、ゴルフ

皆様のお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



松長 花保

(まつなが かほ)

- 出身地／神奈川県
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ドラマ鑑賞

少しでも力になれるよう努力していきますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



山下 雅廣

(やました まさひろ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／サッカー

何事にも一生懸命取り組み、日々成長できるよう努力します。よろしくお願いいたします。



宋 栄樹

(そう えいき)

- 出身地／茨城県水戸市
- 出身大学／新潟大学
- 趣味／旅行、スキューバ

この2年間で少しでも多くのことを吸収できるよう、1日1日頑張っていきます。これからよろしくお願いします！



杉山 恵里子

(すぎやま えりこ)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／札幌医科大学
- 趣味／東洋医学、中医学

日々の経験を大切に、症例に丁寧に向き合っていきます。1年間ご指導の程どうぞよろしくお願いいたします。



山本 日美花

(やまもと ひみか)

- 出身地／札幌市
- 出身大学／旭川医科大学
- 趣味／ゴルフ、スノーボード

少しでも多くのことに触れ、学び、成長の糧にしたいと思っています。未熟者ですが、ご指導のほどよろしくお願いいたします！



高橋 結奈

(たかはし ゆいな)

- 出身地／群馬県
- 出身大学／北海道大学
- 趣味／筋トレ、料理、アウトドア

知識も経験も浅いですが、自分にできることをやっていきたいと思います。

人事消息

令和4年3月31日付退職医師

産婦人科部長 中田 俊之	輸血・検査部部長 平 康二	歯科口腔外科副部長 嶋崎 康相	糖尿病・内分泌内科 佐々木 大河	腎臓内科 西沢 慶太郎
腎臓内科 末次 令奈	循環器内科 西宮 孝敏	消化器内科 相馬 学	消化器内科 臺 一樹	消化器内科 久保田 寛之
呼吸器内科 本田 宏幸	呼吸器内科 臺 鮎香	脳神経内科 野村 太一	脳神経内科 山田 一貴	脳神経内科 吉田 一人
脳神経内科 大寫 祐貴	外科 板垣 有紀	外科 高野 博信	整形外科 水谷 幸三郎	整形外科 津村 諄一
泌尿器科 諸岡 大地	泌尿器科 中島 佑輔	麻酔科 田所 宏彦	麻酔科 鈴木 信太郎	麻酔科 坂本 侑子
麻酔科 川島 如仙	健診部 中澤 修	臨床研修医 池田 健太	臨床研修医 石川 楓	臨床研修医 石黒 達也
臨床研修医 長安 健	臨床研修医 山崎 前穂	臨床研修医 関 宏樹	臨床研修医 伏津 建太郎	臨床研修医 古川 貴啓
臨床研修医 臼井 亮汰	臨床研修医 関口 柚史	臨床研修医 矢田 大智	臨床研修医 田村 尚也	臨床研修医 設楽 駿介
臨床研修医 加地 紫苑	臨床研修医 泉 恭三	臨床研修医 真名瀬 愛子	令和4年4月30日付 退職医師	病理診断科 林 真奈実

旭川赤十字病院 総合診療科のご案内



何科に紹介
したら良いか
わからない…

総合的に
診てほしい…

【予約に関するお問い合わせ先】
〒070-8530 北海道旭川市曙1条1丁目1番1号
旭川赤十字病院地域医療連携室 電話0166-22-8111 (代表)

受付曜日 月曜日～金曜日(祝休日を除く) 受付時間 8時30分～15時00分